

■米国：ミルストーン2、3号機、コネチカット州ゼロ炭素電力支援で10年運転継続へ

米ドミニオン・エナジー社は2019年3月15日、同社がコネチカット州で運転するミルストーン原子力発電所2、3号機（PWR90万kW、同126万kW）の発電電力量のうち、年間90億kWhを10年間にわたって同州の電力会社に供給する契約を結んだと発表した。この結果、経済性の問題で運転期限前の早期閉鎖のリスクに直面していた同発電所は、運転の続行が可能となった。炭素排出削減を目指すコネチカット州は2017年10月、州の再エネ電力調達プロセスの入札に原子力電源の参加を認める法案を議会で可決し、2018年12月には同発電所も入札可能電源に選定されていた。今回の売電価格は公表されていないが、売電量は同発電所出力の約50%に相当する。現地報道では、3月中に電力販売契約がまとまらない場合は、早期閉鎖が決定される可能性も示唆されていた。